

令和3年1月28日
第2回教育委員会定例会
教育部学務課

小・中学校の卒業式、入学式の告辞（案）について

告 辞(案 小学校・卒業式)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書を受け取った皆さんの心には、6年間の出来事が思い起こされていくことでしょう。友達との話合い、委員会活動やクラブ活動など、みなさんは多くの人との関わりの中で、自ら学ぶ力や、相手を思いやる心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてきました。

6年生の1年間は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、たくさんの方のことを我慢し、また新たなことにも挑み、新しい日常での生活が始まった年となりました。皆さんは、その1年間を最高学年として過ごしてきました。感染予防を心掛けながら学校のリーダーとして学び続けていた皆さんの姿に心打たれました。どうぞ自信と誇りを持ち、胸を張って卒業してください。

その一日一日を支えてくださったのは、先生方をはじめ、職員や地域の方々、そして今日、この卒業の日を、誰よりも喜んでくださっている保護者の皆さまです。皆さんの成長を見守り、励まし続けてくれたことを忘れずにください。「ありがとうございます」という感謝の気持ちをもって、これからの毎日をよりよい日々にしていくください。

さて、皆さんは、ラケットを持ちながら車いすに乗り、広いコートで素早く動き回って小さなボールを打ち返すスポーツを見たことがありますか。そのスポーツで、世界大会の優勝回数28回、パラリンピックでは連覇を含めた3つの金メダルを獲得した日本人アスリートがいることを知っていますか。

そのスポーツは車いすテニス、そして、すばらしい記録を残しているアスリートは、国枝慎吾さんです。

国枝選手は、9歳の頃、脊髄腫瘍を発病し車いす生活を送ることになりました。そして、その2年後、11歳の頃、お母さんの勧めで車いすテ

二スと出会いました。

そして、最初から世界を舞台に大活躍…、とはいかなかったようです。

そんな時、国枝選手が思ったことは「自分をどうにか変えたい」ということでした。そして挑戦を続けました。

皆さんもいずれ大人になり、様々なことに挑戦し、地球のどこか、中には宇宙で活躍する人もいるかもしれません。どこであっても、国枝選手のように、自分の可能性を信じて強く生きる人に成長してほしいと願っています。「立川市民科」で学んだ地域のよさや人と人とのつながりの温かさなど、小学校で学んだこと、全てが将来の皆さんの力になります。

4月から、中学生になる皆さん。今、世界は、大きな変化の中にあります。そのような時だからこそ、自らすすんで挑戦してください。そして、友達や周りの人を大切にすることを常に心に留め、私たちのまち立川の未来に向かって、社会で生き抜く力を培っていくことを期待しています。

保護者の皆様、本日、お子様が晴れの卒業の日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この6年間、お子様を温かく見守り、支えていただいたこと、そして、学校とともに歩んでいただきましたことに感謝申し上げます。今後も引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面から御支援、御協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げます、告辞いたします。

令和三年三月二十 日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・卒業式）

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育の全課程を修了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に修了し、卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。

皆さんが、3年生になる昨年の4月は新型コロナウイルス感染症により、当たり前であった学校生活を変えることを余儀なくされました。卒業式や入学式も形を変え、多くの授業や行事・部活動など学校生活のほとんどが新しいスタイルに移行せざるを得ませんでした。それでも、皆さんは最高学年として、学校の中心として、先生方とともに学校を引っ張ってきてくれました。

思い出してみてください。休校期間が明けて登校した時のクラスの様子、友達の笑顔はそれまでの暗い気持ちを一扫する、一つの大きな光だったのではないのでしょうか。そして仲間や人と人とのつながりの大切さを心から実感し、これまでの学校のリーダーとして歩んできた仲間の姿を想起させられたことでしょうか。

さて、皆さんはJAXA宇宙科学研究所の小惑星探査機の「はやぶさ2」を知っていますか。「はやぶさ2」は様々な困難を乗り越え、昨年12月に小惑星リュウグウから多くの土や石などを採取し、それらが入ったカプセルを、宇宙からオーストラリアの砂漠に落下させることに成功しました。そして現在は別の天体の探査へ向かう10年の拡張ミッションへと旅立っています。この小惑星リュウグ

ウから採取した土や石は、太陽系の成り立ちなどを解明する手懸りとなるなど大変重要な意義をもたらすといわれています。

コロナ禍にも関わらず、成し遂げた「はやぶさ 2」のミッションは努力し続けることの大切さを教えてくれました。みなさんが、この一年間取り組み続けた努力も、きっと未来につながる確かな一歩となるでしょう。

義務教育を終え、新たな世界に飛び立つ皆さんの心の中には、希望に満ちた気持ちもあれば、不安な気持ちもあると思います。しかし、皆さんが身に付けてきた、誰にでも心を開いていくオープンマインドの精神、チャレンジ精神、仲間との絆は、夢へと進む財産となつて皆さんを支えてくれるはずです。本校で学んだ日々、この地域で学んだ日々、誇りをもって羽ばたいて行って欲しいと思います。そして、この地域の担い手としてよりよい社会づくりに向けて活躍されることを期待しています。

最後になりましたが、これまで熱心にご指導いただきました校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。とともに、改めて卒業生の皆さんの前途を祝して告辞いたします。

令和三年三月十九日

立川市教育委員会

告 辞（案 小学校・入学式）

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございませす。

皆さんは今日から小学生です。小学校では勉強や運動をしたり、休み時間に友達と遊んだり、楽しいことがたくさんあります。もしも困ったことや分からないことがあったら、先生方やお兄さん、お姉さんたちに聞いてください。きっと優しく教えてくれます。

また、先生以外にも学校のために働いてくださる方がたくさんいます。みなさんの登校の安全を見守ってくださる方々や学校の勉強をお手伝いしてくださる地域の方々など、みなさんが楽しく学校生活を送れるように、たくさん協力してくださいませす。みなさんの応援です。学校を応援してくださいませるみなさんに、「ありがとうございませす」の気持ちを込めて、大きな声で、元気に挨拶ができる小学生になってください。みなさんの元気な声で学校や地域全体がもっともっと明るく元気になります。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在であり、我がまちの未来を築く市民です。保護者の皆様、地域の皆様など多くの関係者が連携し、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育み、一人ひとりの可能性を伸ばすことができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人が、充実した学校生活を送れるよう、温かくご指導くださいますことをお願い申し上げます、告辞といたします。

令和三年四月六日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・入学式）

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から始まる中学校生活に、期待と希望に、胸を膨らませていることと思います。

中学校の三年間は、新しい知識や技能を身に付け、豊かな人間性が育つ大切な時期です。

自分の目標をしっかりともち、すすんで学習や運動に取り組み、学ぶことの厳しさや楽しさを体験して、確かな力を付けていってください。

今、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっています。皆さんは、感染症対策のために、小学校生活最後の一年にいろいろなことをがまんし、入学式を迎えられました。今、皆さんが経験していることは、家族や仲間を大切にし、自分自身も大切にすること、人間として最も必要なもののひとつである「思いやり」の心を養うことにきつとつながります。この経験を通して、どんな困難な状況の中でも、人と人が支え合い、助け合えば乗り越えられるという希望をもって、確かな「生きる力」を身に付けてくれると信じています。

また、皆さんはこれからの中学校生活で、初めてのことや難しいことに何度となく挑戦することになるでしょう。そのときは、周りにいる友達と互いに助け合い、知恵を出し合い、前進していくてください。そして皆さんが、小学校の立川市民科で学んだことを地域貢献活動などで実践し、地域のリーダーとして、さらに

たくましく成長し、活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちの、もの見方や考え方が広がる時期です。特に、心の発達の著しい時期であるだけに、迷ったり悩んだりする時期でもあります。

ご家庭におかれましても、お子様の願いや思いを受け止め、よりよい生活習慣が築かれるように、導いていただきたいと思います。そして、子どもたちの健やかな成長のため、学校教育へのご理解とご協力を、お願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、地域の皆様に対しまして、子どもたちへ深い愛情を寄せられ、よりよい校風を築いていかれますよう、お願い申し上げます、告辞といたします。

令和三年四月七日

立川市教育委員会